

協賛企業・団体募集のご案内

子どもたちへの気象や環境に関する様々な出前授業を全国各地の小中学校や幼稚園などで実施しております。天気の実験やクイズを織り交ぜ、楽しみながら学べる授業です。天気や環境に関心を持ち、防災や地球環境を守る行動に繋げられるよう、気象キャスターネットワークが分かりやすく解説します。皆様のご協賛、ご支援をよろしくお願いいたします。

講演・イベント承ります

気象キャスターや気象予報士が、天気や防災、環境について講演や講座、イベントなどを全国各地で開催しています。気象キャスターによる講演のほか、親子で楽しく学べるイベントなども多数実施しております。詳しくは当会HPよりお問い合わせください。

【講演例】・地球温暖化の影響と災害への備え
・気象キャスターがみた地球温暖化と異常気象

空レポ表紙写真



黄昏れの大阪・関西万博 中江 文隆さん



ハロと二重の虹！ 西田 美樹さん



赤い夕焼け 大森 麻以さん

今回表紙写真を募集しましたところ
たくさんの会員さまから
お写真のご提供がありました。
どれも素敵な写真でしたので、
一部掲載させていただきます。
みなさま、表紙写真の
ご協力ありがとうございました！

発行

NPO法人 気象キャスターネットワーク



私たちは、全国で活躍する気象キャスターとその経験者、気象予報士などが一体となって、地球環境問題の解決や気象災害の軽減に関する知識普及啓発活動を行い、これを目的として2004年に設立された特定非営利活動法人です。

〒110-0002
東京都台東区上野桜木1-14-21
高遠レジデンス上野桜木202号室
TEL：03-5832-9401 FAX：03-5832-9402

表紙写真：田原 勝人さん
発行日：2025年7月18日

NPO法人気象キャスターネットワーク会報

空色レポート SORAIRO REPORT

23号
2025

現場で活かせる！

特集①「日本の気候変動2025」気象庁からの最新レポートをご紹介します

特集② 忘れちゃいけないフロン問題！オゾン層破壊から地球温暖化へ



流れる吊るし雲

長野県の勤務時代は、車通勤でした。
この日、いつも通りの道を進み、空への視界が開ける場所に来たら、この吊るし雲が目に見え込んで来ました。
うわー！感激しながら、会社方向には交差点を右折するはずなのに、そのまま直進して、この雲をよく見渡せる場所を探し駐車して、富士山かなあ、南アルプスかなあと考えながらシャッターを押したのを思い出しました。
(撮影コメント：田原 勝人さん)

キャスターレポート

敷波美保さん

聞かせて！地域レポート

林美穂さん

長谷川麻衣さん

服部由佳さん

現場で活かせる！ 「日本の気候変動2025」 気象庁からの最新レポートをご紹介します

教えてくださったのは
気象庁
気候変動対策推進室

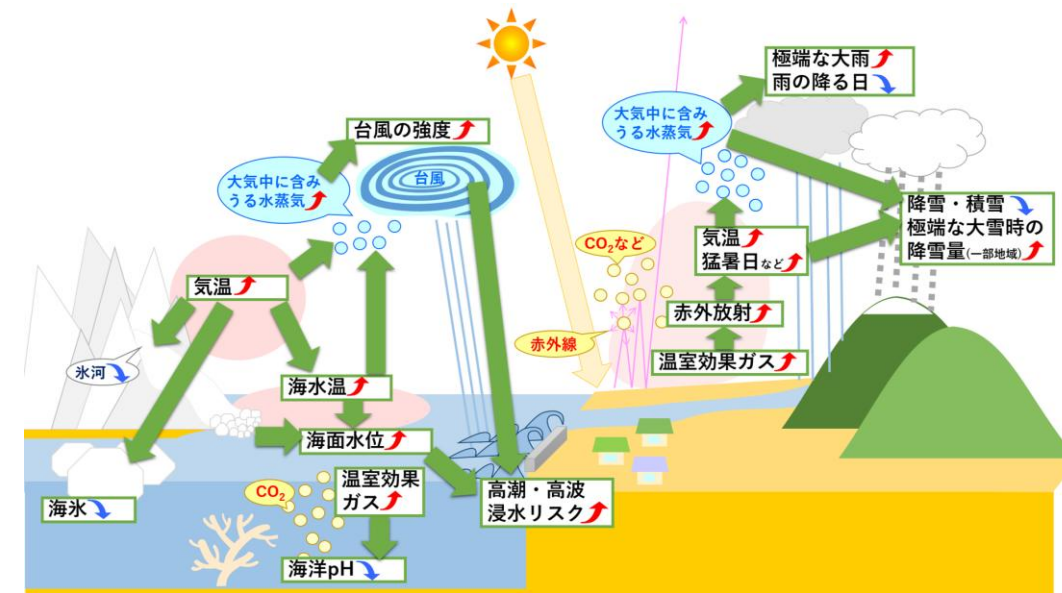


図1 気候変動に関する各要素の変化の関係の概要

文部科学省と気象庁は、2025年3月に「日本の気候変動2025 ― 大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書 ―」（以下、「日本の気候変動2025」）を公表しました。これは、主に日本における気候変動について、温室効果ガス、気温、降水、台風、海水温などの要素（図1）ごとに、最新の観測結果と将来予測を取りまとめた報告書です。ここでは、報告書の特徴と、気候変動関連情報の普及啓発にご活用いただけるコンテンツについてご紹介させていただきます。

「日本の気候変動2025」の特徴

「日本の気候変動2025」には、前回の「日本の気候変動2020」には無い情報が載っています。その一つに「日本における極端な大雨や高温の発生頻度や強度の変化」があります。例えば、関東甲信地方において20世紀末には100年に一回しか起こらなかった大雨（日降水量による。）について、世界平均気温が4℃上昇した世界の気候では100年に約3.7回発生するという予測が掲載されています（図2）。この図は、気候変動を踏まえたインフラ整備や防災対策等への利用を想定して掲載したのですが、一般の方に地球温暖化が進んだ場合の影響を具体的に想像し

てもらえるような情報でもあります。

「日本の気候変動2025」では、このような日本の気候変動に関する最新の知見を、気候や海洋などに関する背景情報や参考情報も交えながら掲載しています。また、コラムとして、さくらの開花日の変化や水災害への対策、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の排出シナリオを含む将来予測の計算方法といった話題も掲載しているほか、平均気温が1℃上昇することの意味（ただ均一に1℃高くなるわけではなく、地域や季節によってばらつくことで、より高温の日や地域も出現する。）も解説しています。

普及啓発用コンテンツ

「日本の気候変動2025」では、本編の内容をスライド形式でコンパクトにまとめた「概要版」、報告書内の図やグラフを画像ファイル及び数値データで提供している「素材集」、報告書の主なトピックを気象庁職員がコンパクトに解説した「解説動画」、都道府県別の情報を掲載した「都道府県別リーフレット」を公表していますので（図3）、場面に応じてご利用ください。

更に、本編の内容に沿って、伝え方の具体例や誤解を与えかねない表現の例、よく質問いた

だく事項の解説等を掲載した「副読本」を追加資料として作成することを予定しています。

おわりに

気候変動関連の情報には、不確実性の幅を持つ情報や、バイアスを含む情報があります。そのため情報の発信に当たっては、適切にご理解いただけるよう、伝える際に技術を要する場合があります。一人でも多くの方々に正確な情報をお届けするため、普及啓発の担い手である皆様とこれからも連携させていただければ幸いです。

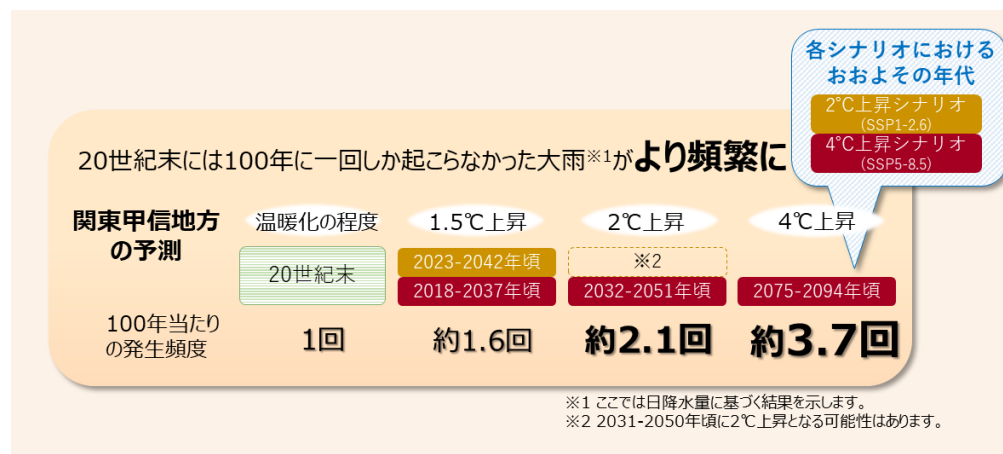


図2 100年に一回の極端な大雨の発生頻度の変化（関東甲信地方）



図3 「日本の気候変動2025」コンテンツ一覧

ご存知ですか？ WCN会員向け勉強会・見学会

WCNでは、会員向けの勉強会や施設見学会などを不定期に開催しています。気象庁の方や大学の先生方などを講師に迎え、最新の気象、防災に関する情報・知識をお話していただいています。

実施した施設見学や勉強会のタイトルなどはコチラからご覧いただけます



忘れちゃいけない フロン問題！ オゾン層破壊から地球温暖化へ

環境省地球温暖化対策課
フロン対策室
五明玲子さん

みなさんは「フロン」と聞いて何を思い浮かべますか。多くの方は、オゾン層破壊やオゾンホールといったキーワードが浮かぶのではないのでしょうか。しかし、オゾン層が回復傾向であるというニュースが流れた後は取り沙汰されなくなり、解決済みの環境問題だと思われている方も少なくありません。しかし、実は現在もフロン問題は続いています。

フロンは約100年前にアメリカで開発された物質です。燃えにくく、人体に毒性がないことから、その後急速に使用されるようになりました。フロンは発泡剤やスプレーにも一部使用されていますが、何といっても「冷やす」ことに最も多く使用されています。お店に入ったとき「あ、涼しいな」とか、アイスクリームコーナーで「あ、冷たいな」と感じるのは、フロンが冷媒（れいばい）として空調や冷蔵庫などに使用されているからです。

フロンと言ってもたくさんの種類があるため、総称として「フロン類」と呼んでいます。フロン類の中で、みなさんのご記憶に残っているオゾン層を破壊する特性を持つものを「特定フロン」と呼んでいます。“特にオゾン層を破壊するそれ”と特定したのだと思います。その後、特定フロンの国内での生産は全廃され、オゾン層に影響のないフロンが広く使用されるようになりました。しかし、オゾン層が回復傾向とは言え、現在もオゾンホールは残っており、定期的な観測が続けられています。（図1：右図中央グレー部分）

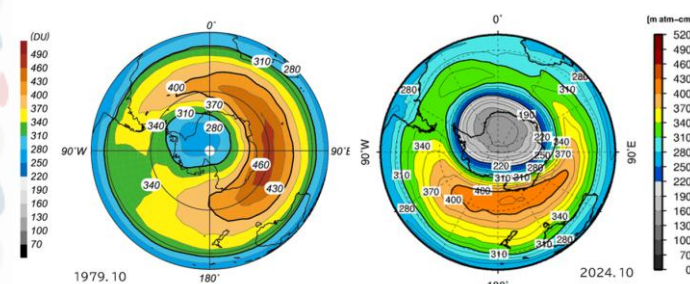


図1 南極付近のオゾン層の分布図（出典：気象庁データを環境省で加工）

さて、オゾン層に影響のないフロンが広く使用されるようになったとお伝えしましたが、このフロンは特定フロンの代替（だいたい）ということで「代替（だいたい）フロン」と呼ばれています。しかし、実は今この代替フロンの、CO₂よりも大きな温室効果を持っていることが国際社会でも問題になっています。例えば、ビル用エアコン1台に含まれる代替フロンの漏れと、その温室効果はCO₂約50 t 分にも及びます。この温室効果は、レジ袋を約150万枚製造したときや、トラックで地球を2.4周したときと同じとされています（図2参照）。そのため、現在では代替フロンもまた規制の対象となり、段階的な削減をすることが国際的な約束とされています。



図2 環境省リーフレットより抜粋
（出典：https://www.env.go.jp/content/900440904.pdf）

今、社会ではフロンを使用しない自然冷媒の機器を導入する企業も徐々に増えてきています。家庭では、エアコンの効きが悪くなったらフロンが漏れている可能性があるのも早めに専門業者に相談しましょう。不要になった場合は、家電リサイクル法に従って正しく廃棄することで機器からの漏洩を防げます。また、私たちがフロン類の問題を誰かに伝えることで、多くの人が「涼しい」や「冷たい」に関心を持ち、温暖化対策を自分事として捉えるきっかけになれるかもしれません。

家族と歩む、私の充実日々 ママキャスター奮闘記

敷波美保さん
（正会員）



ちょうど1年前の6月某日、娘が誕生しました。今年と違って、ちゃんと梅雨らしい日でした。それから4ヶ月経たずして



「日テレNEWS24」でキャスター復帰し、今年の4月からは「DayDay.」にも出演しています。周りからは「大変じゃない？」と言われますが…その通り！大変です！

（笑）でも大好きな仕事をしながら、日々成長していく子どもを見られる今が、人生で一番充実していると感じています。このタイミングで執筆の機会を頂いたので、仕事と子育てについて感じていることを書こうと思います。

まず、復帰のタイミングは悩みました。オーディションの話を聞き、これまでだったら迷わず手を挙げていたのですが、復帰には家族の協力が不可欠です。挑戦したい、けど子どもに寂しい思いをさせるのではないかと、夫にも相当な負担をかけるのではないかと、そんな葛藤もありました。ただ、夫は「やんなきゃ！」と私よりも乗り気で応援してくれました。合格の知らせを受けたときは、叫び過ぎてお昼寝中の娘を起こしてしまったことはよく覚えています。

それから週2日、キャスターとして再び画面に出ることになりましたが、私にとっては初めての全国天気で苦労もありました。これまでは東京MXでやっていたので、日本海側の大雪解説なんかも初めてで、よくNHK+で地方局の方の解説を見て勉強させていただいていました。

そして復帰から半年が経ち、4月からは「DayDay.」にも出ることに。同じタイミングで娘は保育園に入園しました。最初がとにかく大変で…娘は慣らし保育で1時間で帰ってきてしまうし！私

もど緊張の日々でクタクタで！軌道に乗るまで、今振り返ると相当カオスな生活でした。



「DayDay.」は入社してから本当に慌ただしく時間が過ぎていきます。特に1回目の天気が終わり、約30分後の11時4分頃から11時予報を伝える2回目までの間はドタバタです。予報がガラッと変わることもありますし、予報の更新時間が少し遅いと、画面の確認はスタジオに入ってからになることも。いつもハラハラする時間です。無事にオンエアを終え、帰宅する頃には大体グッタリしています。でも、とっても不思議なんです、保育園に娘をお迎えに行くと、顔を見ると疲れが吹き飛んでしまうんです。本当に不思議です。

仕事と子育てが両立できるかと言われたら、一人では無理です。休みの調整が難しい仕事なので、娘が体調不良となれば、夫や実家に見てもらおうしありません。協力してくれる人がいるから成り立っています。

娘がもう少し大きくなって私の仕事を理解し始めた時に、”かっこいいママ”でいられるよう、これからも頑張りたいと思います。



聞かせて！ 地域レポート

このコーナーではWCNの全国各地の
会員さまから、地域の特色あふれる
レポートをお届けします

豊かな自然と多彩な空模様 山梨の空が織りなす雲の絶景

甲府盆地が広がり、その周囲に山々が連なる山梨県は、全国の中でも日照時間が長い地域として知られています。盆地では澄んだ青空が広がりやすい一方で、山の付近にはさまざまな雲が見られ、空や雲の表情が豊かです。山地周辺に浮かぶ雲の中には、地形の影響を受けた特徴的な雲もよく現れます。写真を撮影した日も富士山付近の上空に雄大な「吊るし雲」が浮かんでいました。その姿は甲府から見てもとても印象的で、こうした雲が描く空の変化を日々楽しみながら生活を送っています。【山梨の空が見せる自然のアート】は「日

本が世界に誇る富士山の絶景」や「寒暖差が育む芳醇な果実」、そして「日本一美味しい天然水」と並ぶ山梨の魅力の一つです。



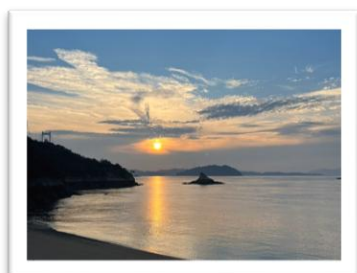
林美穂さん
(正会員)



しまなみ海道サイクリングで満喫！ 瀬戸内の絶景と癒し

去年の夏から愛媛県に住んでいます。東京から遊びに来た友人としまなみ海道へサイクリングに行ってきました。目的地は来島海峡大橋を渡った大島にある標高約300mの亀老山展望公園。スタート地点で記念写真を撮り、造船所を横目に見ながらループ峠を走り、行き交う船や瀬戸内の多島美を眺めながら橋を渡り終えると、島の道の

駅で海鮮料理を頂くことができます。展望台まで急勾配の道を自転車で登るのは大変でしたが、登った先には瀬戸内の絶景が待っていました。帰路で見た夕日もとても美しかったです。普段は車で移動する生活が中心ですが、風を感じながら空や海、島をじっくり眺めた癒しの時間でした。



服部由佳さん
(正会員)



長谷川麻衣さん
(正会員)

山形の食文化 豊かな恵みと知恵の味

山形県は食文化が豊かです。これは山形の過酷な気候を生き抜く人々の、長年の知恵と工夫からきているのだと感じます。今回は山形の素晴らしい食文化を一部ご紹介します。

まずは芋煮です。メインの具材は里芋。地域や家庭によって味付けや具材が異なります。私が住む村山地方では、里芋と牛肉などを醤油で味付けします。秋に河川敷で行う芋煮会は秋の風物詩です。

続いてそばです。山形の昼夜の寒暖差によって甘みの強いそばに育ちます。春に楽しめる山菜そばは

山形の自然の恵みを存分に堪能できます。

更に、"山形市ラーメン消費額3年連続日本一"などラーメン文化も強く根付いています。

辛味噌ラーメンやとりもつラーメンなど地域ごとに様々な種類があり、夏には冷やしラーメンを食べて暑さを乗り切ります。

まだまだ沢山あります。山形にいらした際は、さくらんぼだけではない食文化の豊かさをご堪能下さい。



事務局スタッフ

おすすめ書籍のご紹介



「今さら聞けない 気象の超基本」
朝日新聞出版
今井明子（著）
2025年7月



「すばらしい空の見つけかた」
草思社
武田康男（写真・文）
2025年2月



「今すぐ見上げたくなる！
やさしい空と宇宙のはなし」
緑書房
武田 康男 縣 秀彦（共著）
2024年11月